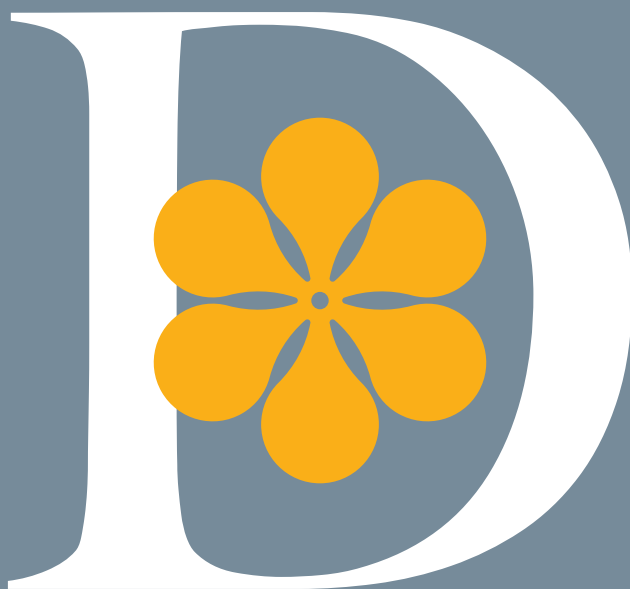


札幌市立大学大学院
デザイン研究科
博士後期課程

2023

履修の手引き



札幌市立大学大学院デザイン研究科

GRADUATE SCHOOL OF DESIGN
SAPPORO CITY UNIVERSITY

デザイン研究科博士後期課程

アドミッション・ポリシー

〈教育研究の理念〉

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

〈教育研究の目的〉

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

〈デザイン研究科博士後期課程の求める学生像〉

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
- 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

カリキュラム・ポリシー

博士後期課程では、本課程に掲げる理念・目的のもと教育・研究活動を展開し、目標とする人材を育成するため、以下の方針に基づき教育課程を編成します。

- 1 体系的・組織的な教育研究指導を意図した教育課程とする。
- 2 人間空間デザイン分野、人間情報デザイン分野の2つの分野を設け、「課題発見・分析・解決能力」「研究遂行能力」「調整力」「指導力」といったデザイン学研究を自律的に推し進める総合能力を修得する授業科目を配置する。
- 3 地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から発見・解決するために、コースワークがリサーチワークの基礎となるようデザインの学術的・社会的意義を追求し、地域課題の先駆的事例をテーマとした横断的実践教育を通して幅広い視野でものごとを探究する能力を養う教育課程とする。
- 4 専門分野における新規性のある知見を導きだし、『博士論文』としてまとめられる人材育成を目指した教育課程とする。

ディプロマ・ポリシー

博士後期課程では、デザイン分野における学術の理論及び技能の高度化を追究し、自立した研究者として、デザインに関連する課題や研究に取り組み、所定の単位を修めた上で博士論文の審査に合格し、以下の能力を備えた者に博士の学位を授与します。

- 1 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- 2 デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- 3 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」

2023 履修の手引き

札幌市立大学大学院デザイン研究科
博士後期課程

《目 次》

1 授業スケジュール

1-1 年間スケジュール	04
1-2 修学進行表	05
1-3 時間割	07

2 教育課程

2-1 デザイン研究科博士後期課程の教育・研究上の理念	09
2-2 教育目的	09
2-3 育成する人材像	10
2-4 教育課程の編成・特色	11
2-5 博士論文研究スケジュール	14

3 履修要項

3-1 授業科目一覧・履修モデル	20
3-2 履修登録について	23
3-3 履修登録マニュアル	25

1

博士後期課程 授業スケジュール

- 1-1 年間スケジュール
- 1-2 修学進行表
- 1-3 時間割

1 -1 年間スケジュール

◆入学式	4月 3日(月)
◆前期ガイダンス	4月 4日(火)
◆前期授業開始	4月 5日(水)
◆前期履修登録期間	4月 5日(水)～ 4月12日(水)
◆健康診断	4月12日(水)
◆夏季休業	8月12日(土)～ 8月30日(水)
◆前期成績公表	8月31日(木)
◆後期授業開始	9月30日(土)
◆後期履修登録期間	10月 2日(月)～10月10日(火)
◆冬季休業	12月26日(火)～ 1月 3日(水)
◆後期成績公表	2月29日(木)
◆春季休業	3月 1日(金)～ 3月31日(日)
◆修了式	3月19日(火)

1-2 修学進行表 (博士後期課程1・2年次)

※①は博士後期課程1年次関連、②は博士後期課程2年次関連

週数	月	月	火	水	木	金	土	日	備考
		回数	回数	回数	回数	回数	回数		
1		-	-	-	-	-	1	2	
2	4月	3 - 入学式	4 - 前期ガイダンス	5 1 前期授業開始 履修登録開始	6 1	7 1 ①指導教員希望届 提出期限	8 1	9	前期ガイダンス (4/4)
3		10 1	11 1	12 2 履修登録終了 D健康診断	13 2	14 2	15 2	16	前期授業開始 (4/5)
4		17 2	18 2	19 3	20 3	21 3	22 3	23	健康診断 (4/12)
5		24 3	25 3	26 4	27 4	28 4	29 - 昭和の日	30	
6	5月	1 4	2 4	3 - 憲法記念日	4 - みどりの日	5 - こどもの日	6 4	7	
7		8 5 ①研究課題(案)届 提出期限	9 5	10 5	11 5	12 5	13 5	14	
8		15 6	16 6	17 6	18 6	19 6	20 6	21	
9		22 7	23 7	24 7	25 7	26 7	27 7	28	
10		29 8	30 8	31 8	1 8	2 8	3 8	4	
11	6月	5 9	6 9	7 9	8 9	9 9	10 9	11	
12		12 10	13 10	14 10	15 10	16 10	17 10 オープン キャンパス	18	
13		19 11	20 11	21 11	22 11	23 11	24 11	25	
14		26 12	27 12	28 12	29 12	30 12 ①研究課題届 提出期限	1 12	2	
15	7月	3 13	4 13	5 13	6 13	7 13	8 13	9	
16		10 14	11 14	12 14	13 14	14 14	15 - D編入学・博士前期 課程推薦入試	16	
17		17 - 海の日	18 15	19 15	20 15 横断型連携特別演習 最終成果発表会	21 15	22 14	23	
18		24 15	25 -	26 -	27 -	28 -	29 15	30	
19		31 -	1 -	2 -	3 -	4 -	5 -	6	
20	8月	7 -	8 -	9 -	10 -	11 - 山の日	12 - 夏季休業開始	13	
21		14 -	15 -	16 -	17 -	18 -	19 -	20	
22		21 -	22 - 学内研究交流会	23 -	24 -	25 -	26 -	27	
23		28 -	29 -	30 - 夏季休業終了	31 - 成績公表	1 -	2 - N 社会人・ 助産学入試	3	
24	9月	4 -	5 -	6 -	7 -	8 -	9 -	10	後期授業開始 (9/30)
25		11 -	12 -	13 -	14 -	15 -	16 - オープンキャンパス、 大学祭(芸森C)	17 大学祭(芸森C)	
26		18 - 敬老の日 大学祭(桑園C)	19 -	20 -	21 -	22 -	23 - 秋分の日 D・N博士前期課程入試	24	
27		25 - 9月卒業・修了式	26 -	27 -	28 -	29 -	30 1 後期授業開始	1	
28	10月	2 1 履修登録開始	3 1	4 1	5 1	6 1	7 2 D総合型選抜	8	
29		9 - スポーツの日	10 2 履修登録終了	11 2	12 2	13 2	14 3	15	
30		16 2	17 3	18 3	19 3	20 3	21 4	22	
31		23 3	24 4	25 4	26 4	27 4	28 5	29	
32		30 4	31 5	1 5	2 5	3 - 文化の日	4 6	5	
33	11月	6 5	7 6	8 6	9 6	10 5	11 7	12	
34		13 6	14 7	15 7	16 7	17 6	18 - D・N学校推薦型選抜・ D社会人特別選抜	19	
35		20 7	21 8	22 8	23 - 勤労感謝の日	24 7	25 8	26	
36		27 8	28 9	29 9 産学官金研究 交流会	30 8	1 8	2 9	3	
37	12月	4 9 ①研究計画書 提出期限	5 10	6 10	7 9	8 9	9 10	10	
38		11 10	12 11	13 11	14 10	15 10	16 11	17	
39		18 11	19 12	20 12	21 11	22 11	23 12	24	
40		25 12	26 - 冬季休業開始	27 -	28 -	29 - 年末年始休日	30 - 年末年始休日	31 年末年始休日	
41	1月	1 - 元日 年末年始休日	2 - 年末年始休日	3 - 年末年始休日 冬季休業終了	4 12	5 12	6 13	7	
42		8 - 成人の日	9 13	10 13 ①研究計画書審査会 1/10まで	11 13	12 13	13 - (大学入学共通 テスト)	14 (大学入学共通 テスト)	
43		15 13	16 14	17 14	18 14 ①研究計画書 審査結果公表	19 14	20 14	21	
44		22 14	23 15	24 15	25 15	26 15	27 15	28	
45		29 15	30 -	31 -	1 -	2 -	3 - N博士後期 課程入試	4	
46	2月	5 -	6 -	7 - ①研究計画書 再提出期限	8 -	9 -	10 -	11 建国記念の日	
47		12 - 振替休日	13 -	14 - ②第1回公開発表会 (中間発表)用便紙 提出期限	15 -	16 - ①研究計画書 再審査会 2/16まで	17 - D博士後期 課程入試	18	
48		19 -	20 - ②第1回公開発表会 (中間発表)	21 -	22 -	23 - 天皇誕生日	24 -	25 D・N 学部一般前期 ・D 留学生入試	
49		26 -	27 -	28 -	29 - 成績公表	1 - 春季休業開始	2 -	3	
50	3月	4 -	5 -	6 -	7 -	8 -	9 -	10	
51		11 -	12 -	13 -	14 -	15 -	16 -	17	
52		18 -	19 - 卒業・修了式	20 - 春分の日	21 -	22 -	23 -	24	
53		25 -	26 -	27 -	28 -	29 -	30 -	31	

… 長期休業期間

修学進行表（博士後期課程3年次）

※(9月)は2023年9月修了関連、(3月)は2024年3月修了関連

週数	月	月	火	水	木	金	土	日	備考
		回数	回数	回数	回数	回数	回数		
1	4月	-	-	-	-	-	1	2	前期ガイダンス (4/4) 前期授業開始 (4/5) 健康診断 (4/12)
2		3	- 入学式	4	- 前期ガイダンス	5	1	9	
3		10	1	11	1	12	2	16	
4		17	2	18	2	19	3	23	
5		24	3	25	3	26	4	30	
6	5月	1	4	2	4	3	- 憲法記念日	7	博士論文予備審査 申請期限(5/12)
7		8	5	9	5	10	5	14	
8		15	6	16	6	17	6	21	
9		22	7	23	7	24	7	28	
10		29	8	30	8	31	8	4	
11	6月	5	9	6	9	7	9	11	博士論文予備審査会 (6月上旬までに実施)
12		12	10	13	10	14	10	18	
13		19	11	20	11	21	11	25	
14		26	12	27	12	28	12	2	
15	7月	3	13	4	13	5	13	9	博士論文審査会 (本審査) 申請期限(7/14)
16		10	14	11	14	12	14	16	
17		17	- 海の日	18	15	19	15	23	
18		24	15	25	-	26	-	30	
19		31	-	1	-	2	-	6	
20	8月	7	-	8	-	9	-	13	博士論文審査会 (本審査) 最終試験 (8月上旬までに実施) 公開発表会(8月中旬 までに実施) 最終論文 提出期限(8/31)
21		14	-	15	-	16	-	20	
22		21	-	22	- 学内研究交流会	23	-	27	
23		28	-	29	-	30	- 夏季休業終了	3	
24	9月	4	-	5	-	6	-	10	修了判定結果公表 (9/15) 博士論文提出期限 (9/29) 後期授業開始 (9/30)
25		11	-	12	-	13	-	17	
26		18	- 敬老の日 大学祭(芸森C)	19	-	20	-	24	
27		25	- 9月卒業・修了式	26	-	27	-	1	
28		2	1 履修登録開始	3	1	4	1	8	
29	10月	9	- スポーツの日	10	2 履修登録終了	11	2	15	博士論文予備審査 申請期限(11/10)
30		16	2	17	3	18	3	22	
31		23	3	24	4	25	4	29	
32		30	4	31	5	1	5	5	
33	11月	6	5	7	6	8	6	12	博士論文予備審査会 (本審査) 最終試験 (2月上旬までに実施) 公開発表会(2月中旬 までに実施) 最終論文 提出期限(2/22)
34		13	6	14	7	15	7	19	
35		20	7	21	8	22	8	26	
36		27	8	28	9	29	9 産学官全研究 交流会	3	
37	12月	4	9	5	10	6	10	10	博士論文予備審査会 (12月上旬までに実施)
38		11	10	12	11	13	11	17	
39		18	11	19	12	20	12	24	
40		25	12	26	- 冬季休業開始	27	-	31	
41	1月	1	- 元日 年末年始休日	2	- 年末年始休日	3	- 年末年始休日 冬季休業終了	7	博士論文審査会 (本審査) 申請期限(1/12)
42		8	- 成人の日	9	13	10	13	14	
43		15	13	16	14	17	14	21	
44		22	14	23	15	24	15	28	
45		29	15	30	-	31	-	4	
46	2月	5	-	6	-	7	-	11	博士論文審査会 (本審査) 最終試験 (2月上旬までに実施) 公開発表会(2月中旬 までに実施) 最終論文 提出期限(2/22)
47		12	- 振替休日	13	-	14	-	18	
48		19	-	20	- 公開発表会 実施期間(3月)	21	-	25	
49		26	-	27	-	28	-	3	
50	3月	4	- 修了判定会議(3月)	5	- 修了判定結果 公表(3月)	6	-	10	修了判定結果公表 (3/5) 博士論文提出期限 (3/29)
51		11	-	12	-	13	-	17	
52		18	-	19	- 卒業・修了式	20	- 春分の日	24	
53		25	-	26	-	27	-	31	

… 長期休業期間

1-3 時間割

デザイン研究科博士後期課程開講科目（時間割）

2023前期

※開講時限及び教室は予定です。変更になる可能性があります。

科目名	担当教員	教 室	開講時限
人間空間デザイン研究法	◎椎野、齊藤	E棟講義室1	月曜日6講目
人間情報デザイン研究法	◎三谷、石井、細谷	E棟講義室2	月曜日6講目
横断型連携特別演習	◎三谷、石井、柿山、片山、金子、小宮	レクチャールーム、他	担当教員により異なります。 詳細は授業内でお知らせします。
博士デザイン特別演習	主指導教員	担当教員により異なります。詳細は授業内でお知らせします。	

2023後期

※開講時限及び教室は予定です。変更になる可能性があります。

科目名	担当教員	教 室	開講時限
人間空間デザイン特講	◎山田(信)、小林	E棟講義室1	月曜日6講目
人間情報デザイン特講	◎藤木、柿山	E棟講義室2	月曜日6講目
横断型連携特別演習	◎三谷、石井、柿山、片山、金子、小宮	レクチャールーム、他	担当教員により異なります。 詳細は授業内でお知らせします。

2023通年

科目名	担当教員	教 室	開講時限
博士特別研究I	主指導教員	担当教員により異なります。詳細は授業内でお知らせします。	
博士特別研究II			
博士特別研究III			

2

博士後期課程 教育課程

- 2-1 デザイン研究科博士後期課程の教育・研究上の理念
- 2-2 教育目的
- 2-3 育成する人材像
- 2-4 教育課程の編成・特色
- 2-5 博士論文研究スケジュール

デザイン研究科博士後期課程

博士後期課程は、「人間空間デザイン分野」及び「人間情報デザイン分野」の2分野で編成されています。

●「人間空間デザイン分野」

これからの住空間や都市環境など屋内外の様々な空間を研究対象とするうえで、今まで以上に歴史と文化を含んだ「自然」との共存・調和を尊重しながら「ひと」の営みの場を一層豊かなものとする教育・研究を目指します。

●「人間情報デザイン分野」

魅力ある製品や質の高いコンテンツを生み出すためには、感性評価や人間工学等の視点に基づいて研究を行うことはもとより、インタフェース表現やメディア展開の手法等も含め、様々な要素が相互かつ複雑に関連していることを認識し、実践的研究や評価分析に取り組むことが不可欠であると考えます。このような考え方のもと、総合的な教育・研究を行います。

2-1 デザイン研究科博士後期課程の教育・研究上の理念

本課程が教育・研究の対象とするデザインは、「人間」を中心に考える学問であることから、「人と人」、「人と社会」、「人と人工物」の望ましい関係を探究するという視点に立ち、先端的な研究を通じて得られる知的財産を活かして、地域の活性化や安心・安全と真の豊かさを実感できる地域社会の実現に貢献することを目指します。

①自立して研究活動を行い、デザインの学術理論及び技能の高度化を追求します。

独自の視点から課題を発見し、自主的・自立的に研究を行い、精深な専門的知見を身に付け、それを基礎として事象を俯瞰できる幅広い洞察力を培うとともに新たな理論の構築や技術開発に取り組みます。

②人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」としてその成果を積極的に地域へ還元します。

「人間重視」の考え方を根幹に据えた教育・研究を通じて、複雑かつ多岐にわたる地域課題の発見・解決に寄与することができる高度な専門性を有する人材を育成するとともに、知的財産を広く地域社会に還元することを通じて、安心・安全で真の豊かさを実感できる地域社会づくりに貢献します。

③深い専門知識や技能に併せて幅広い視野を持つ一層高度な実践的専門職業人及び研究者・教育者を育成します。

デザインに関する専門性を一層追求し、知識基盤社会において国内外で活躍しうる創造力、分析能力、実践力及びマネジメント能力を併せ持った高度専門職業人を育成します。また、先端的かつ高度な研究に取り組むとともに専門分野の研究にとどまらず周辺の学問分野を取り入れた学際的・実践的な教育・研究を行う研究者・教育者を育成します。

2-2 教育目的

本課程は、「自立した研究者として独創的な観点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術の理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たす。」（札幌市立大学大学院学則第4条第2項）ことを教育・研究上の目的としています。

地域社会は、環境、医療、文化、情報、経済、産業、国際関係、行政等、多種多様なシステムが複雑かつ相互に関係しながら構成されており、近年の社会構造の急激な変化に伴い、様々な課題が生じています。特に北海道内では、経済・社会・文化活動等の拠点が札幌・石狩圏に集中する一方で、地方都市では過疎化が進み、当該地域では地元の

魅力や活力を活かした地域再生に向けた「まちおこし」の様々な試みが行われています。その実効性を高めるには、既存の社会システムや経済システムの枠組みにとらわれず、斬新なデザインの視点から特色ある地域資源を発掘するとともに、それを地域ブランドとして事業化し、新産業を育成する仕組みを構築することが必要であると考えます。それぞれの地域においてデザインが果たし得る役割や可能性に大きな期待が寄せられており、それに応える高度なデザイン能力を有する人材の育成が求められています。

本課程では、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じてその解決策を見出し、地域の再生や活性化等に貢献することを目的としています。また、環境に配慮した持続可能な都市空間や住空間のあり方を考え、ひとと自然との共存を目指します。

〈本課程において修得を目指す能力〉

- ①自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養も涵養し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・解析・解決能力」
- ②デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③新しいデザイン理論の構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値を生み出す「創造力」
- ④他人とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」や「指導力」

2-3 育成する人材像

(1) 育成する人材像

①デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る高度専門職業人の育成

札幌市をはじめ道内自治体では、地元企業等との協働・連携の強化を図り、デザインを通じた地域貢献に取り組む組織を構築する能力や、地域住民のニーズに応える地域資源の探索やシステム開発能力を備える人材が必要とされています。そのため、本課程では、新しい理論に基づいて事業企画等のプロジェクトを構築するとともに、技術開発にも独創的に取り組み、新たな社会価値を生み出す「創造力」を持った人材を育成します。これにより、組織を構築・運営することのできる「リーダーシップ」を発揮する確かな「調整力」や「指導力」を持った高度専門職業人を輩出することができ、全国ならびに北海道、札幌市の近隣のまちづくり機関や産業振興機関に対して、円滑なコミュニケーションを図りながら、産業振興施策等に関する提言を行うことが可能となります。

②自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる研究者・教育者の育成

本課程では、学士課程や修士課程で蓄積した教育・研究成果をさらに発展させ、対象地域から課題を発見し、まちづくり、産業振興、芸術文化の質的改善に向けた科学的根拠を自立的に生み出すことができる「課題発見・解析・解決能力」を持った人材、そして自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究実践能力」を持った人材、加えてモノづくりの研究手法論や先駆的なシステムモデルの研究を推進できる高度な人材を育成します。

さらには、これらに関する研究成果や知を体系化して、デザイン科学を成熟した学問とし、次世代を担う若者に高度な教育・研究の成果とその手法論、指導論等を高い倫理観や職業観を持って教授できる優れた教育能力を持つ研究者・教育者を育成します。

(2) 修了後の進路

企業における企画立案部門・設計部門等の統括者（プロジェクトマネージャー）、公的研究機関やシンクタンク等における研究者及び指導的役割を担う企画立案者となることを想定しており、これらの企業・研究機関において、調査分析、企画立案、運営管理業務を統括できる高度専門職業人としての役割を担います。また、一部は大学等の高等教育研究機関における教育・研究者となることを想定しています。

【人間空間デザイン分野】

- ・建設業、建築設計事務所、不動産業、ゼネコン等における設計技術者及び企画立案部門・設計部門のプロジェクトマネージャー等の高度専門職業人
- ・公的試験研究機関、民間企業の研究所や研究部門、シンクタンク等における研究者及び指導的役割を担う企画立案者、北方建築総合研究機関・環境科学研究機関、総合研究調査機関等
- ・大学等の高等教育機関における教育・研究者（デザイン学部、芸術工学部、工学部、環境科学部 等）
- ・従前の勤務先に戻る（社会人学生の場合）

【人間情報デザイン分野】

- ・製造業、通信・運輸業、マスコミ・放送、デザイン事務所、情報サービス業、その他のサービス業における企画立案部門等の高度専門職業人
- ・公的試験研究機関、民間企業の研究所や研究部門、シンクタンク等における研究者及び指導的役割を担う企画立案者、工業試験場、総合研究調査機関、民間企業等の情報メディア研究部門 等
- ・大学等の高等教育機関における教育・研究者（デザイン学部、芸術工学部、工学部、情報学部、メディア学部、観光学部 等）
- ・従前の勤務先に戻る（社会人学生の場合）

2-4 教育課程の編成・特色

（1）教育課程編成の基本方針

「基本科目」「展開科目」「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、必要な授業科目を配置するとともに、当該科目区分ごとに履修要件単位数を定め、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備しています。教育課程の編成にあたっては、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行います。

（2）教育課程編成上の特色

i）課程制大学院の趣旨に沿った教育課程・研究指導

科目区分を設けて授業科目を配置するとともに、当該科目区分ごとに履修要件単位数及び修了要件単位数を定め、コースワークによる体系的・組織的な教育課程ができるよう配慮しています。

ii）オムニバス方式による効果的な科目の設定

学生が専攻する分野を問わず、デザインを学ぶ上で共通に求められる基盤的知識や研究手法、分析手法等の最新知識や技能を修得させ、さらに俯瞰的なものの見方、基礎的コミュニケーション能力や豊かな人間性、柔軟な適応力や発想力を育むため、近隣領域の内容を含めたオムニバス形式の科目を設定しています。

iii）単位取得による修了要件の明確化

課程制大学院のコースワークを意識し、各科目の単位数と併せて修了要件単位数を設定しています。学生に対して履修モデルを明示し、3年間を通じた組織的・体系的な学修スケジュールを提供します。

研究指導科目についても、「博士特別研究Ⅰ」、「博士特別研究Ⅱ」、「博士特別研究Ⅲ」として、3年間の通年開講科目と位置づけ、単位数（必修8単位）を定めています。

（3）科目区分及び授業科目の特色及び履修方法

i）構成・単位数

①基本科目

「基本科目」には、学生が自身の研究課題に基づき研究を進めていく際に、その研究テーマを問わず、デザイン分野として共通に求められる調査方法、分析方法、評価方法等を修得することを目的とした基本的な科目を設けて

います。

「人間空間デザイン研究法（2単位）」及び「人間情報デザイン研究法（2単位）」は、論文例や研究方法、評価方法等を示しながら、論文作成に求められる研究の枠組みや解析技法をはじめとして、調査・研究手法全体を俯瞰する位置づけの科目として設けられています。具体的には、各分野の研究に関連する実際の学術論文等を題材に取り上げ、論文の枠組み、論文の構成要素、文献検索、先行研究事例の読解、仮説の設定、実験方法、データ収集、データ解析、理論の検証、考察の手法等を学び、自身の論文作成に有益な方法論構築の全般を修得します。なお、当該科目は、前述の2分野それぞれに即した内容の「研究法」としてオムニバス方式にて開講します。

また、専攻するデザイン分野の知識修得のみならず、異分野に対する理解を深め、社会を俯瞰する広い視野や研究に対する複眼的思考能力を養う観点から、「横断型連携特別演習」を設けています。当該科目は、学生と複数の教員から構成する小グループのもとで、地域課題に関する先駆的事例をテーマとして調査・分析を行い、授業の終盤では全グループが合同で行う討論会等により解決策の総合化を図ります。これにより、学生に対してプレゼンテーション能力やディベート能力を修得させることを狙いとしています。

基本科目では、「横断型連携特別演習」を必修とし、これに加えて研究法の2科目のうち1科目を選択することとします。

②展開科目

「展開科目」には、学生が本課程に相応しいデザイン研究を遂行するために必要な知識・技術を修得するために支えとなる中心的科目を配置し、博士論文作成に繋がる教育を展開します。

展開科目に属する授業科目として、特講科目である「人間空間デザイン特講（2単位）」と「人間情報デザイン特講（2単位）」の2科目のほか、「博士デザイン特別演習（2単位）」の計3科目を開講します。

上記の特講2科目は、それぞれオムニバス形式で開講し、複数の教員が自身の専門分野に特化した授業を行い、学生は自らの専攻分野のみならず、関連する近隣分野の知識も含め、デザインの学問的体系を構築できる能力を養います。

また、演習科目として、2年前期に「博士デザイン特別演習（2単位）」を必修科目として配置します。学生は原則として研究指導教員が担当する当該演習を履修することとし、1年次に学んだ理論や方法論を実践的に展開させることを通じて、分析能力や創造力、実践力等を養います。

展開科目では、「博士デザイン特別演習」を必修とし、これに加えて特講の2科目のうち1科目を選択することとします。

③研究指導科目

研究指導科目は、「博士特別研究Ⅰ」（2単位）、「博士特別研究Ⅱ」（2単位）、「博士特別研究Ⅲ」（4単位）の合計8単位とし、各学年で通年履修を義務付ける必修科目です。

当該特別研究では、学生が研究指導教員等の助言・指導等のもと決定する研究テーマについて、3年間を通じて研究に取り組み、最終的にその集大成となる博士論文を取りまとめます。3年間の研究計画を立案・実行することにより、専門知識の涵養と併せて自己のマネジメント能力を研鑽します。

ii) 配当年次の考え方

体系的に科目を履修し、研究指導が受けられるように配当年次を設定しています。基本科目として、デザインの基本的な研究法を身に付ける「人間空間デザイン研究法」及び「人間情報デザイン研究法」は、1年前期に開講します。同じく基本科目である「横断型連携特別演習」は、1年の通年科目として開講します。

展開科目の「人間空間デザイン特講」及び「人間情報デザイン特講」は上記の基本科目を学修した後に履修できるよう1年後期に開講します。

また、1年次に学んだ理論や方法論を実践的に展開、深化させることを狙いとして、「博士デザイン特別演習」を2年前期に開講します。

研究指導科目である「博士特別研究Ⅰ」「博士特別研究Ⅱ」「博士特別研究Ⅲ」の3科目は、1年次から通年開講科目として3年間にわたって開講し、研究指導教員が継続的に一貫した指導を行います。

iii) 修了要件

基本科目から4単位以上（必修2単位を含む）、展開科目から4単位以上（必修2単位を含む）、研究指導科目から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査に合格する必要があります。

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合 計	16単位以上

iv) 博士前期課程の授業科目の聴講

補完的教育の実施について、本課程の学生が希望し、または研究指導教員等が必要と認める場合には、研究科教授会の議を経て、本研究科博士前期課程の授業科目を聴講することができます。詳しくは、履修登録期間内に学生課に問い合わせをしてください。

(4) 研究指導の方法及び修了要件

i) 研究指導科目の指導方法と論文審査

研究指導科目として「博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を設け、研究指導教員が学生の理解度、進行度等を評価しながら指導を行います。博士論文の研究テーマは、研究指導教員及び関連分野の教員の指導のもとで決定し、学生は定期的に指導、助言を受けながら論文を完成させます。

ii) 研究指導スケジュール

学生が入学してから修了するまでの研究指導は、次の項目に掲載のとおりです。

2-5 博士論文研究スケジュール

	月	学 生	指導教員	研究科教授会
出願		研究計画書 ↓ 入学試験	→ 事前相談	
1年次	4	入学 研究分野及び研究指導教員希望		→ 指導教員決定
		←	履修指導	
		←	→ 研究課題決定	→ 研究課題報告
	6	研究計画立案	研究計画指導	
		↓ 研究計画書作成		
	1	研究計画書審査申請		→ 研究計画書審査会
2年次		←		【研究計画書審査】 ・研究指導教員3名により構成する ・プレゼンテーション(口頭試問)、質疑応答
		倫理審査申請 ※研究計画書審査後に行う		→ 倫理審査会
		←		【デザイン研究科倫理審査会】 ・構成員4名 ・その他必要に応じて専門家を入れることができる
		研究遂行(データ収集等)	研究指導	
	2	第1回公開発表会(中間発表) ・研究計画と進捗状況をプレゼンテーション		→ 第1回公開発表会(中間発表) ・問題点指摘、意見陳述、改善指導
		↓	↓	
3年次	11	論文作成 博士論文予備審査申請	論文作成指導	→ 主査、副査の決定
		←		・主査(1名) : 当該学生の研究指導を担当する教員以外の研究指導教員 ・副査(3名) : 所属分野の研究指導教員および所属分野外の教員(うち1名は、当該学生の研究指導を担当する主・副指導教員も可) : 必要に応じて、うち1名を学外から招聘することも可
	12	←		→ 博士論文予備審査会
		↓		【博士論文予備審査】(12月上旬) ・主査・副査による論文審査、口頭試問を行う ・予備審査申請書提出後1ヶ月以内に行う ・提出資格審査を合わせて行う (要件: 取得単位の状況、研究業績の妥当性)
	1	博士論文(審査用)提出		→ 博士論文審査会(本審査)
		←		【博士論文審査[最終試験]】(2月上旬) ・主査及び副査(予備審査時と同じ) ・上記の博士論文予備審査会で示された意見や指摘を基に修正等を行った論文の審査を書類審査と口頭試問によって行う
	2	第2回公開発表会 ・研究成果の発表、プレゼンテーション		→ 第2回公開発表会 ・修正指導
		↓ 論文修正		↓
		最終博士論文提出		→ 可否判定
	3	修了		→ 修了認定(学位授与)

※長期履修学生については、博士特別研究Ⅱを履修中の年度に第1回公開発表会(中間発表)を行います。博士特別研究Ⅱを履修済の者(最終年次を除く)は、第1回公開発表会(中間発表)に合わせて研究経過発表を行うことを推奨します。最終年次のスケジュールについては、上記3年次と同様です。

①指導教員の決定

学生からの申請に基づき、研究科教授会にて研究分野及び研究指導に適する主指導教員1名を決定します。なお、研究テーマが複数教員の専門領域にまたがる学際的研究等の場合には、副指導教員による指導を希望することができます。

②研究計画の立案及び指導

研究テーマを設定し、研究計画を立案します。指導教員は、研究方法、文献検討等により、学生の研究計画の立案を指導します。学生は、研究計画に基づき研究を遂行します。指導教員は、研究テーマが一連の研究手順に沿って進行していくよう指導します。

③研究計画書の作成及び研究計画書審査

指導教員の指導・助言を受けながら、研究テーマについての具体的な研究計画書を作成します。学生からの申請に基づき、研究計画書審査会はプレゼンテーション（口頭試問）及び質疑応答により研究計画書の審査を行います。研究計画書審査会は、本課程を担当する研究指導教員3名により構成され、審査委員の選出は研究科教授会において行われます。

④倫理審査

必要に応じて、「デザイン研究科倫理審査会」による倫理審査を受けてください。

⑤第1回公開発表会

研究成果の発表の場として、第1回公開発表会を開催します。

⑥博士論文の作成及び指導

第1回公開発表会までの研究成果を基に博士論文の作成を開始し、同発表会での意見陳述や指摘等を踏まえ、博士論文をまとめます。

⑦主査・副査の決定

研究科教授会は、学生研究成果を取りまとめた博士論文を審査するため、その研究テーマの審査に適した専門分野の教員の中から主査1名及び副査3名を選出し、学生に通知します。主査には、研究指導を担当している教員以外の研究指導教員が充てられます。副査は、所属分野の研究指導教員および所属分野外の研究指導教員から構成され、当該学生の研究指導を担当している主・副指導教員のうち1名を充てることも認められています。また、必要に応じて、研究科教授会の承認のもと、副査の内の1名を学外から招聘することができます。

⑧博士論文予備審査

申請に基づき、博士論文予備審査会（前述の主査及び副査）にて、博士論文提出要件を充足しているかどうかについての審査を行います。その後、博士論文を基にプレゼンテーション及び口頭試問により予備審査を行います。

⑨博士論文の提出及び博士論文審査

学生は、博士論文予備審査において示された意見や指摘を基に、修正した博士論文を所定の期日までに提出します。主査及び副査は、提出された博士論文を審査するとともに、その論文内容及び専門領域に関する最終試験（口頭試問）を行います。

⑩第2回公開発表会

研究科教授会は、博士論文に係る研究発表の場として、第2回公開発表会を開催します。主査及び副査は、発表内容に係る問題点を修正指導・助言します。

⑪最終博士論文の提出及び合否判定

学生は、最終試験及び第2回公開発表会にて指摘された事項を修正し、博士論文を完成させます。主査及び副査は、提出された博士論文の最終審査を行い、これらの結果を研究科教授会に報告します。研究科教授会は、主査及び副査による博士論文の審査結果及び当該学生の単位取得状況を総合的に勘案し、博士後期課程修了の合否を判定します。

⑫博士後期課程の修了及び博士の学位の授与

学長が、研究科教授会の判定結果に基づき、学生の博士後期課程の修了を認定し、博士の学位を授与します。

◆博士論文の審査体制

研究の最終成果となる博士論文は、主査及び副査による博士論文審査委員会において、博士論文としての水準や倫理的側面等から審査を行い、合否を決定します。この審査は、主査1名及び副査3名の体制で行われ、審査員は研究科教授会において選出されます。主査は当該学生の研究指導を担当している教員以外の研究指導教員の中から、副査は所属分野の研究指導教員および所属分野外の研究指導教員から構成されます。なお、当該学生の主・副研究指導教員は副査の内の1名になることができます。また、副査の内1名は論文の専門性などを勘案し、必要に応じて研究科教授会の承認のもと学外者を招聘することも認められています。最終的に提出された博士論文については、研究科教授会において合否を判定します。

※学位審査を受ける学生の3親等内の親族は、審査委員会の委員となることができません。

◆博士論文提出資格

博士論文予備審査では博士論文提出資格を充足しているかどうかについての審査をし、その後博士論文をもとにプレゼンテーション及び口頭試問による審査を行います。博士論文提出資格については、以下のとおりです。

1. 博士論文提出資格について

以下のとおり定める。

- ①博士論文予備審査申請期限までに権威ある学会誌（学術雑誌）等に掲載された（あるいは掲載が決定した）審査付論文が二編以上（予備審査会においては掲載見込みの審査付論文一編を含んでもよい）あること。
- ②上記の審査付論文については、原則として二編とも博士論文に関連するものであること。
- ③上記の審査付論文の二編については筆頭著者であること。
- ④上記の審査付論文の二編のうち少なくとも一編は本課程在学中に掲載された（あるいは掲載が決定した）ものであり、指導教員が共著者であることが望ましい。
- ⑤上記の審査付論文の二編のうち一編は休学中、博士後期課程退学後、または博士後期課程入学前のものを認める。
なお、博士後期課程入学前の審査付論文を認めるかどうかは入学後の所定の審査を経て決定する。
- ⑥上記の審査付論文の二編のうち一編は、その他の論文、国際会議の予稿を認める。

2. 博士論文提出資格に係る審査付論文について

博士論文提出資格に係る審査付論文は、掲載にかかる査読者2名以上かつ6ページ以上の原著論文とし、以下のア、イのいずれかに該当するものとする。

ア) 日本学術会議協力学術研究団体として指定された全国規模の学会から、定期的に発行される学会誌（学術雑誌）等に掲載（掲載決定を含む）されたものであること。

※上記の条件に合致する学会誌（学術雑誌）等を別表に例示する。別表に掲載されていない学会誌（学術雑誌）等へ投稿する場合には、指導教員に相談すること。

イ) 以下のいずれかに当てはまる国内外の学術雑誌等に掲載（掲載決定を含む）されていること。

- ・ Clarivate Analytics社 impact factorが付されている学術雑誌
- ・ Scopus Scimago Journal Rank (SJR) に掲載されている学術雑誌
- ・ Directory of Open Access Journals (DOAJ) に登録されている学術雑誌
- ・ Open Access Scholarly Publishers Association (OASPA) のmemberの学術雑誌
- ・ Committee on Publication Ethics (COPE) のmember学会等の学術雑誌
- ・ Elsevier社 citesscoreが付されている学術雑誌

※その他の論文について

その他の論文は、掲載にかかる査読者2名以上かつ6ページ以上で、かつ上記ア) またはイ) に該当する学術雑誌等に掲載された論文のうち、原著論文以外のカテゴリに属するものとする。

具体的には、日本デザイン学会の「日本デザイン学会・作品集」などがこれに該当する。掲載された論文のカテゴリが分からない場合は、指導教員に相談すること。

※国際会議の予稿について

国際会議の予稿は、上記イ) の学術雑誌の発行母体等が主催する国際会議において発行される講演論文 (proceedings) のうち、採択にかかる査読者2名以上かつ6ページ以上のものとする。

ただし、以下の場合には認められないので留意すること。

- ・ 抄録 (abstract) に対する審査は受けたが、Proceedingsに対する査読を受けていない。
- ・ 予稿集には掲載されたが国際会議での発表を行っていない。

なお、国際会議の規模、運営・審査体制、公開方法等により、業績として認められない場合がある。

◆博士論文の審査基準

1. デザイン研究科博士後期課程の教育・研究上の理念について

- ①自主的・自立的な研究の実践及び新たなデザインの理論構築や技術開発への取り組み
- ②人間重視の考え方を基盤とした高度な専門性の追求
- ③安心・安全で真の豊かさを実感できる地域社会づくりへの貢献
- ④国内外で活躍しうる創造力・分析能力・実践力・マネジメント能力の修得
- ⑤学際的・実践的研究への取り組み

2. 研究内容について

①研究課題について

研究課題には客観的意義と独創性があるか

②先行研究の調査について

先行研究が十分に吟味されているか

③研究方法について

研究の方法が適切であり、明確かつ具体的に記述されているか

④研究結果・考察について

明確な結論が導かれ、新しい知見が得られているか

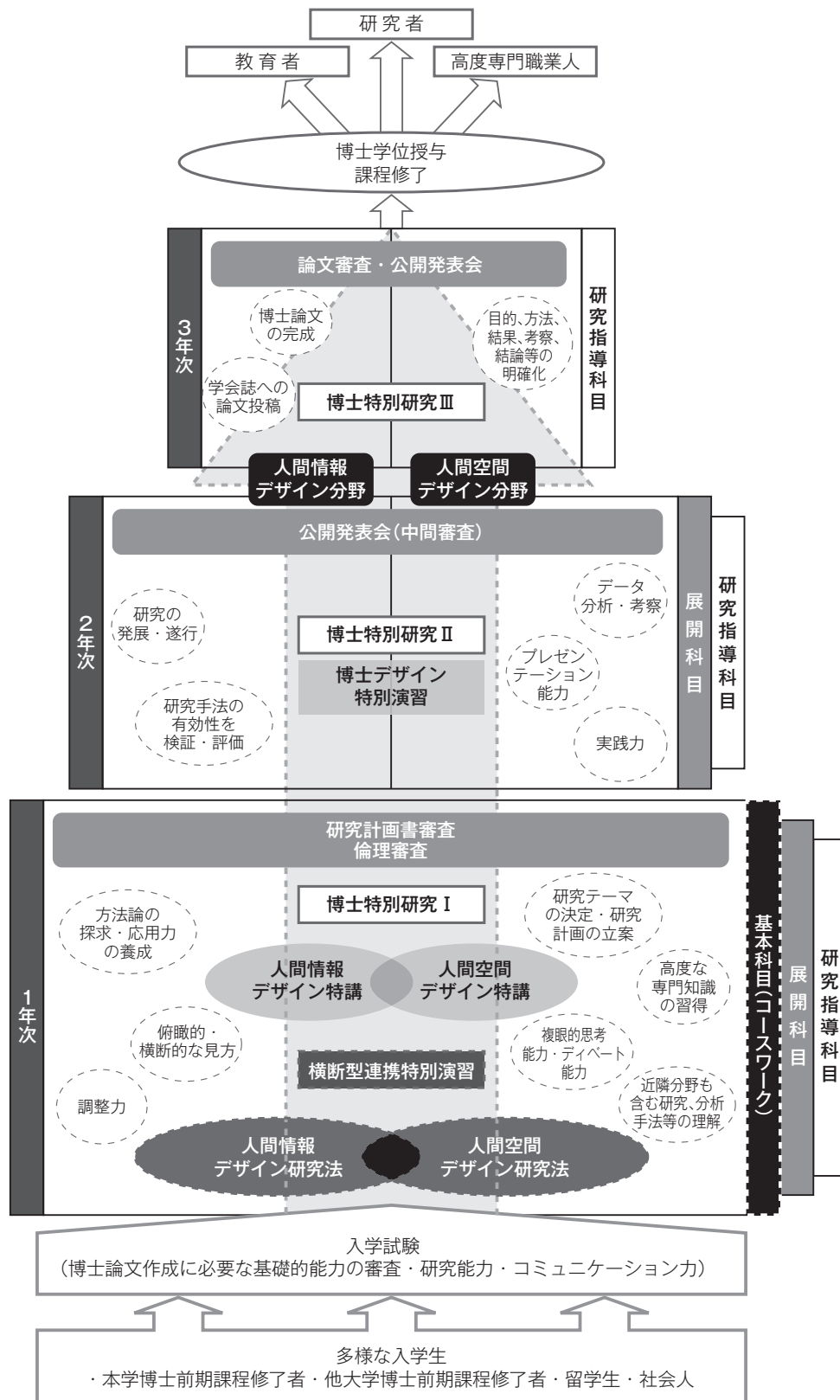
⑤論文構成について

論文構成が体系的でかつ整合性があるか

◆学位論文の公表

学生は、論文等の公表方法について指導教員から指導を受け、博士論文の審査申請の際、当該論文の学術大会での発表又は論文投稿の予定を記載して提出します。博士論文は本学の学術機関リポジトリ等において公表します。

デザイン研究科博士後期課程教育課程概念図



3

博士後期課程 履修要項

- 3-1 授業科目一覧・履修モデル
- 3-2 履修登録について
- 3-3 履修登録マニュアル

3-1 授業科目一覧・履修モデル

授業科目一覧

教育課程等の概要									
(デザイン研究科デザイン専攻博士後期課程)									
科目 区分	授業科目の名称	科目 ナンバリング	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本 科目	横断型連携特別演習	D1A901	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	D1A902	1前期		2		○		
	人間情報デザイン研究法	D1A903	1前期		2		○		
	小計(3科目)		—	2	4	0	—		
展開 科目	人間空間デザイン特講	D1A911	1後期		2		○		
	人間情報デザイン特講	D1A912	1後期		2		○		
	博士デザイン特別演習	D2A911	2前期	2				○	
	小計(3科目)		—	2	4	0	—		
研究 指導 科目	博士特別研究Ⅰ	D1A921	1通年	2				○	
	博士特別研究Ⅱ	D2A921	2通年	2				○	
	博士特別研究Ⅲ	D3A921	3通年	4				○	
	小計(3科目)		—	8	0	0	—		
合計(9科目)			—	12	8	0			

課程の修了要件及び履修方法									
基本科目から4単位以上(必修2単位含む)、展開科目から4単位以上(必修2単位含む)、研究指導科目から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。									

授業科目のナンバリングについて(博士後期課程)

- 本学で開講されている授業科目について、順次性のある体系的な学修を進めるため、各科目にナンバーを付与しています。
- 番号体系
 - ・1桁目 研究科コード D: デザイン研究科
 - ・2桁目 配当年次(配当年次が複数年の場合は、「5」以降の番号を使用する)
 - ・3桁目 カリキュラム区分 現行のカリキュラム: A、新カリキュラム: Bからアルファベット順に使用する)
 - ・4桁目 分類コード 博士後期課程 9: 博士後期課程科目
 - ・5～6桁目 博士後期課程科目番号
下2桁を以下のとおりとする。
基本科目 01～10、
展開科目 11～20、研究指導科目 21～30

デザイン研究科博士後期課程履修モデル

人間空間デザイン分野の履修モデル例①

〔研究テーマ例：より豊かな都市空間や住空間の創造について考究する〕

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位	履修時期				学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次		
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→				・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期	2	→				・建築史研究、都市計画研究法、自然環境調査法等の手法を修得
	人間情報デザイン研究法	1前期						
	小計(2科目履修)	—	4					
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期	2	→				・建築史、建築設計・意匠、都市計画、建築環境等についての知識修得
	人間情報デザイン特講	1後期						
	博士デザイン特別演習	2前期	2		→			・建築史、建築設計、建築意匠等の理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4					
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通年	2	→				・建築系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究Ⅱ	2通年	2		→			・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究Ⅲ	3通年	4			→		・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8					
合計(7科目履修)		—	16					

人間空間デザイン分野の履修モデル例②

〔研究テーマ例：都市と自然との調和による地域環境保全について考究する〕

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位	履修時期				学生の動き・教育研究の目標等
				1年次	2年次	3年次		
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→				・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期	2	→				・建築史研究、都市計画研究法、自然環境調査法等の手法を修得
	人間情報デザイン研究法	1前期						
	小計(2科目履修)	—	4					
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期	2	→				・建築史、建築設計・意匠、都市計画、建築環境等についての知識修得
	人間情報デザイン特講	1後期						
	博士デザイン特別演習	2前期	2		→			・都市計画、自然環境、応用生態工学等の理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4					
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通年	2	→				・都市計画系・環境系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究Ⅱ	2通年	2		→			・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究Ⅲ	3通年	4			→		・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8					
合計(7科目履修)		—	16					

人間情報デザイン分野の履修モデル例①
〔研究テーマ例：感性評価を活かしたプロダクトデザインを考究する〕

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位	履修時期						学生の動き・教育研究の目標等
				1年次		2年次		3年次		
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→						・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する 広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期								
	人間情報デザイン研究法	1前期	2	→						・感性評価、形状情報設計、視覚認知特性等を通じた研究手法を修得
	小計(2科目履修)	—	4							
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期								
	人間情報デザイン特講	1後期	2	→						・人間工学、感性評価、感性インタラクション、形状情報設計、視覚認知等についての理論修得
	博士デザイン特別演習	2前期	2			→				・感性評価、感性情報学、ヒューマンインタフェースの理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4							
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通年	2	→						・感性デザイン系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画書審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究Ⅱ	2通年	2			→				・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究Ⅲ	3通年	4					→		・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8							
合計(7科目履修)		—	16							

人間情報デザイン分野の履修モデル例②
〔研究テーマ例：ヒューマンインタフェースとユーザビリティを考究する〕

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位	履修時期						学生の動き・教育研究の目標等
				1年次		2年次		3年次		
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2	→						・研究に対する複眼的思考能力、社会を俯瞰する 広い視野の涵養
	人間空間デザイン研究法	1前期								
	人間情報デザイン研究法	1前期	2	→						・感性評価、形状情報設計、視覚認知特性等を通じた研究手法を修得
	小計(2科目履修)	—	4							
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期								
	人間情報デザイン特講	1後期	2	→						・人間工学、感性評価、感性インタラクション、形状情報設計、視覚認知等についての理論修得
	博士デザイン特別演習	2前期	2			→				・CAD、形状モデリング、ユーザインタフェース等の理論を実践的に展開
	小計(2科目履修)	—	4							
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通年	2	→						・工学・情報系指導教員の決定 ・研究テーマの検討・決定 ・研究計画書審査会、倫理審査会での審査
	博士特別研究Ⅱ	2通年	2			→				・研究テーマの遂行 ・学会誌等への論文投稿 ・公開発表会(中間発表会)での発表
	博士特別研究Ⅲ	3通年	4					→		・博士論文の作成・取りまとめ ・博士論文予備審査 ・博士論文審査(本審査)・最終試験等 ・博士学位授与
	小計(3科目履修)	—	8							
合計(7科目履修)		—	16							

3-2 履修登録について

授業科目の履修登録は、単位を修得するために欠かせない手続きであり、履修しようとする授業科目については、必ず履修登録を行わなければなりません。履修登録の手続きを行わないで授業を受けても、単位を修得できません。履修登録の手続きにあたっては、以下の内容をよく読み、ガイダンスやポータルシステムなどによる指示に従って、各自が自主的に時間割を作成するなど、計画的に履修することが必要となります。

(1) 基本事項

- a.履修科目は、教育課程、Webシラバス、授業時間割などによって適切に決定してください。
- b.所属年次に配当されている必修科目は、必ず履修登録してください。**
- c.上の年次に配当されている授業科目は履修登録できませんが、下の年次に配当されている授業科目は履修することができます。
- d.単位を修得した授業科目を再度履修登録することはできません。
- e.履修登録確認期間終了後に、履修が確定した科目の変更は原則として認めません。**
- f.指定された期間に履修登録を行わなかった場合は、その学期の履修はできないこととなります。
- g.他研究科の授業科目を履修することも可能ですが、当該授業科目を履修することにより修得した単位は、修了要件単位に含めることはできません。

(2) 履修登録の方法

履修登録は、前・後期の各「履修登録期間」内に、キャンパスプラン学生用Webサービスの「Web履修申請」メニューから学生本人が行います。

入力方法については、履修する科目をWebシラバスでよく確認のうえ、マニュアル（P25以降）の操作手順に従って申請入力してください。履修申請情報を入力後、必ず登録確認画面で履修申請する科目の確認をしてください。

また、入力に際しては、各自の時間割を完成させた上で、システムへの入力を始めてください。

なお、履修登録期間中は、申請入力した内容を各自で修正することができます。

※Webシラバスは、キャンパスプラン学生用Webサービスのメインメニューまたは大学公式ウェブサイトからアクセスできます。

履修登録期間・履修登録確認期間

【前期】4月

月	火	水	木	金	土	日
3	4	5	6	7	8	9
		履修登録期間 4/5(水)～4/12(水)				
10	11	12	13	14	15	16
				履修登録確認期間 4/14(金)～4/19(水)		
17	18	19	20	21	22	23
			前期履修 登録確定			

【後期】10月

月	火	水	木	金	土	日
9/25	26	27	28	29	30	10/1
2	3	4	5	6	7	8
履修登録期間 10/2(月)～10/10(火)						
9	10	11	12	13	14	15
			履修登録確認期間 10/12(木)～10/17(火)			
16	17	18	19	20	21	22
		後期履修 登録確定				

■履修登録期間

前期：2023年 4月 5日(水)～ 4月12日(水) 17:00 *日時厳守

後期：2023年10月 2日(月)～10月10日(火) 17:00 *日時厳守

※登録方法は、「札幌市立大学履修登録マニュアル」を参照すること。

■履修登録確認期間

前期：2023年 4月14日(金)～ 4月19日(水) 17:00 *日時厳守

後期：2023年10月12日(木)～10月17日(火) 17:00 *日時厳守

確認すべき点

- ①履修希望科目（特に必修科目・再履修科目）が登録されているか。
- ②履修希望しない科目が登録されていないか。
- ③修了に必要な単位数を修得できるか。
- ④博士デザイン特別演習・博士特別研究Ⅰ～Ⅲについては、主指導教員の科目を登録しているか。

訂正・修正

- ・履修登録確認期間中に各自で行うこと。

※履修登録確定後の修正は一切認められません。

3-3 履修登録マニュアル

札幌市立大学 履修登録マニュアル

ver.220929



point

履修登録をする前に

- ・事前に必修科目の有無や卒業要件単位について確認しましょう。
- ・直前の学期までの成績がついている学生は、単位修得状況を確認しましょう。



point

履修登録の申請をするには本学のWeb履修申請システム 「CampusPlan」を使用します。

次項より示す、以下の5つのステップを確実に行ってください。



Step01 - ログイン



Step02 - 前期・後期・通年開講の履修科目登録



Step03 - 集中講義・実習申請の登録



Step04 - 履修科目の申請処理



Step05 - 履修申請のチェック

Step04の作業を行わないと
Step03までの入力作業が失われます

●特に大事なチェックポイントの例

- ・必修科目を登録しているか
(特に進級・卒業・修了時の要件となる科目)
- ・クラス分けがある科目の登録を
誤っていないか。(教員名・グループ名など)



point

登録後の確認作業を徹底してください。

- ・登録後は必ず「履修チェック結果(時間割)」からPDFをダウンロードし登録内容を手元に置いておいてください。
- ・履修期間中であれば、何度でも履修登録の変更が可能です。
- ・履修登録確認期間に、もう一度履修登録システムの画面上で登録に間違いがないか、必ず確認してください。
- ・確認期間終了後は、追加・修正は認められません。

●留年に直結します

Step01 - ログイン

*スマートフォンからアクセスした場合
画面表示が異なりますが
基本的にPC版と同じ操作です。

学内のコンピュータ室のパソコンから

学外(自宅等)のパソコンから

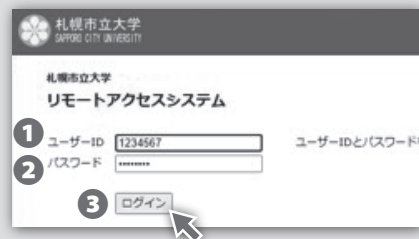
Webブラウザを起動

<https://websrv.scu.ac.jp/gakusei/>
にアクセス



① 「OK」をクリック

https://vpn.scu.ac.jp/student_only_5ve6
にアクセス



- ① ユーザーIDに学籍番号
- ② パスワードにOffice365等で利用する
認証基盤システムのパスワード
- ③ 「ログイン」をクリック

* 混みあって接続できない時は時間を空けて再接続
* 作業完了後は必ず「ログアウト」すること
* ただしスマートフォンの場合はログアウト不要



- ① ユーザーID: 学籍番号
- ② 初期パスワード: 生年月日 8桁 (例2001年2月3日の場合、20010203)
- ③ 「ログイン」をクリック

* 初回ログイン時にパスワード変更が求められます。



パスワードがロックされたら

所属のキャンパスの教務係にロック解除の依頼をしてください。
パスワードがわからなくなった場合はリセットができますので、併せてお申し出ください。

←「ログイン」成功

Step02 - 前期・後期・通年開講の履修科目登録

前期は前期と通年
後期は後期の科目を登録する

1 「Web履修申請」をクリック

2 「履修申請 (時間割)」をクリック

3 時間割を参照し
受講したい開講曜日と時間の
「+」ボタンをクリック
* 前期に後期の科目を
履修登録しないこと。

4 受講したい
「講義名称」を
クリック

5 受講する科目の
「選択」をクリック

シラバスで
授業内容を確認する

* ③の画面にもどります。選択した科目が表示されていることを確認する。

* 一旦登録した科目を削除する場合は「-」ボタンをクリックする。

* Step-04の「申請処理」を行わないと実際の登録処理は行われません。

Step03 - 集中講義・実習申請の登録

1 「集中講義・実習入力」タブをクリック

2 「講義追加」ボタンをクリック

3 履修したい集中講義・実習の講義条件を入力

4 「以上の条件で検索」ボタンをクリック

5 画面下部に検索結果が表示されるので、履修したい科目の「選択」ボタンをクリック

* 何も条件を指定しないと検索できないので、例えば、講義開講時期を「前期」～「前期」と指定して検索をする

* Step-04の「申請処理」を行わないと実際の登録処理は行われません。

検索条件設定 (特に明記のない項目は前方一致検索)

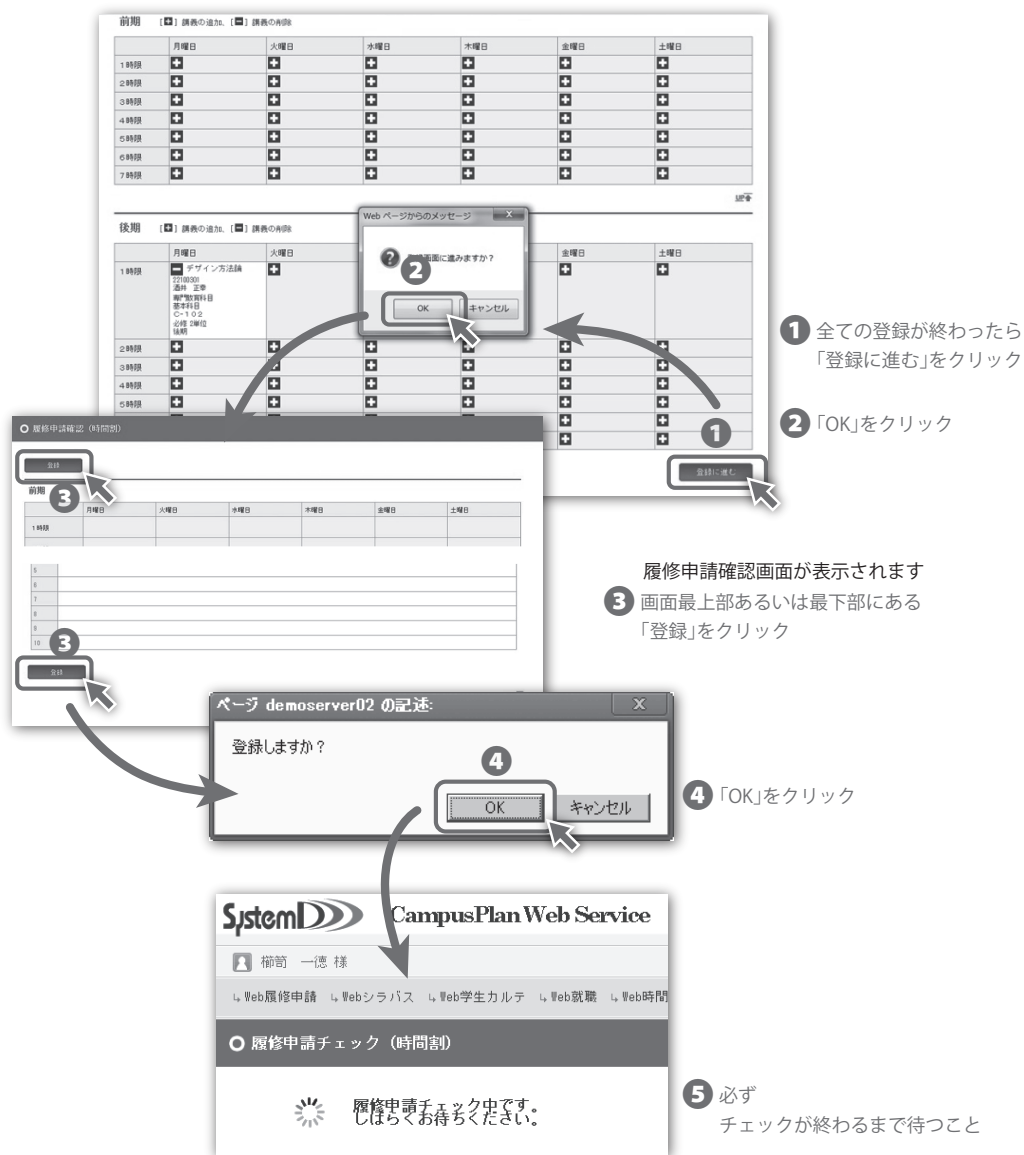
講義コード		講義区分	選択なし
講義名称		代表教員	
講義副題		科目分類・科目分野等 (部分一致検索)	
学科科目名称		必選別	選択なし
講義開講時期	選択なし ~ 選択なし	単位数	
校地	選択なし		

以上の条件で検索

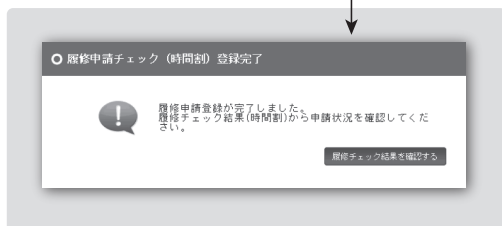
講義コード	講義名称	講義副題	関連学科科目	講義開講時期	校地	講義区分	代表教員	科目分類	必選別	単位数
0010090	日本人のルーツをたどる		日本人のルーツをたどる	通年	鳥丸学院大学(からすまキャンパス)	講義	紺野 勇一	共通科目一般教養科目	選択	2

Step04 - 履修科目の申請処理

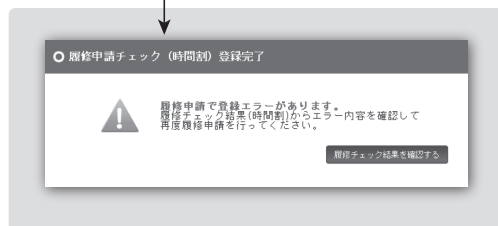
Step04の作業を行わないと
Step03までの入力作業が失われます



エラーがない場合



エラーがある場合



Step05 - 履修申請のチェック

必修科目の登録がされていなくても
エラーには出てこないためご注意ください

前項より

エラーがない場合

エラーがある場合

○ 履修申請チェック (時間割) 登録完了



履修申請登録が完了しました。
履修チェック結果(時間割)から申請状況を確認してください。

履修チェック結果を確認する



履修申請で登録エラーがあります。
履修チェック結果(時間割)からエラー内容を確認して
再度履修申請を行ってください。

履修チェック結果を確認する

Web履修申請のメニューの
「履修チェック結果(時間割)」
をクリック

○ 履修申請チェック結果(時間割)

学年

エラーなし

前期科目

後期科目

集中講義科目

○ 履修申請チェック結果(時間割)

学年

講義エラーあり

前期科目

後期科目

集中講義科目

エラー講義

- ① のように、「エラーなし」になるようにしてください。
- ② のように、「講義エラーあり」等のエラーが表示された場合には
- ③ のようなページ最下部のエラー内容を確認してエラーを除去してください。
- ① のようにエラーが無くなったなら、④ でPDFファイルのダウンロードをしてください。
(システムトラブル時の疑義解消に役立ちます)

エラー内容
重複履修チェックエラー
曜日時間重複チェックエラー
重複履修チェックエラー
曜日時間重複チェックエラー



札幌市立大学大学院デザイン研究科
GRADUATE SCHOOL OF DESIGN
SAPPORO CITY UNIVERSITY